

平成31年3月期第3四半期 連結決算説明資料

 **和弘食品株式会社**

平成31年2月7日
証券コード 2813



市場環境

単身世帯の増加
女性の社会進出
少子高齢化

人手不足

健康志向
安全・安心

訪日外国人増加
インバウンド

ビジネスチャンス

中食の拡大
食の外部化

調理の簡便化

食の多様化
高付加価値化

日本食・和食の
拡大・定着

ニッポンが誇る食ブランド“ラーメン”を世界へ



- 1 . 平成31年3月期第3四半期連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第3四半期 トピックス（参考）

- 1 . 平成31年3月期第3四半期連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第3四半期 トピックス（参考）

業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=111.100円で計算しております。

連結業績

- ✓ 連結売上高は7,860百万円（前年同期比較 887百万円増収 +12.7%）
過去最高の売上高を記録。
- ✓ 連結営業利益は216百万円（前年同期比較 75百万円増益 +53.8%）
対業績予想についても目標を達成。

単体業績

- ✓ 国内売上高は7,267百万円（前年同期比較 684百万円増収 +10.4%）
提案型営業の強化により外食、中食向け製品の売上が好調。
- ✓ 国内営業利益は273百万円（前年同期比較 32百万円減益 △10.6%）
原材料価格の上昇に加え、運送保管費、人件費の増加により営業利益を圧迫。

海外業績（北米）

- ✓ 国外売上高（北米）は634百万円（前年同期比較 219百万円増収 +52.7%）
日本食レストランからの採用件数が堅調に推移。
- ✓ 国外営業利益（北米）は△58百万円（前年同期比較 105百万円増益）
売上高増に伴い稼働率が向上、営業利益の改善が進む。

(単位：千円)	平成30年3月期第3Q	平成31年3月期第3Q					
	実績	予想	実績	前年同期増減比較		予想同期増減比較	
				金額	増減率	金額	増減率
売上高	6,972,388	7,418,712	7,860,118	887,729	12.7%	441,405	5.9%
売上原価	5,370,252	5,774,870	5,975,189	604,936	11.3%	200,319	3.5%
売上総利益	1,602,135	1,643,842	1,884,928	282,792	17.7%	241,085	14.7%
販売管理費	1,461,332	1,494,704	1,668,379	207,046	14.2%	173,674	11.6%
営業利益	140,803	149,137	216,549	75,746	53.8%	67,411	45.2%
経常利益	131,722	155,572	241,497	109,774	83.3%	85,924	55.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	39,250	155,506	137,416	98,166	250.1%	18,090	11.6%
EPS	47.94円	-	167.85円	119.91円	-	-	-
総資産	7,770,033	-	8,695,735	925,701	11.9%	-	-
純資産	4,071,664	-	4,056,149	15,514	0.4%	-	-

EPSについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

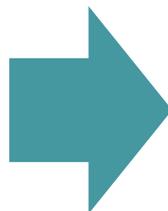
予想進捗率

売上高

81.7%

営業利益

249.9%

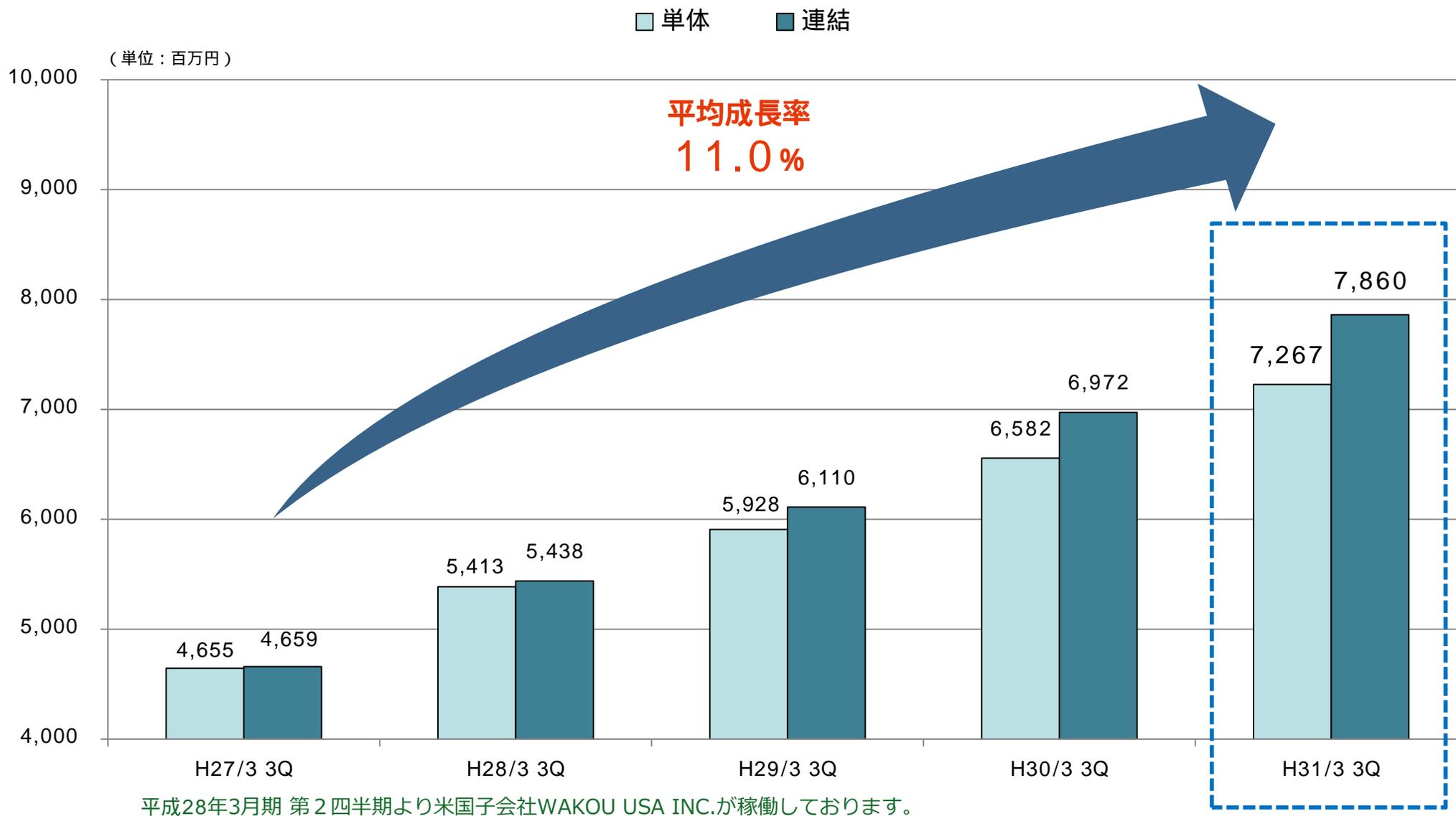


【好調理由】

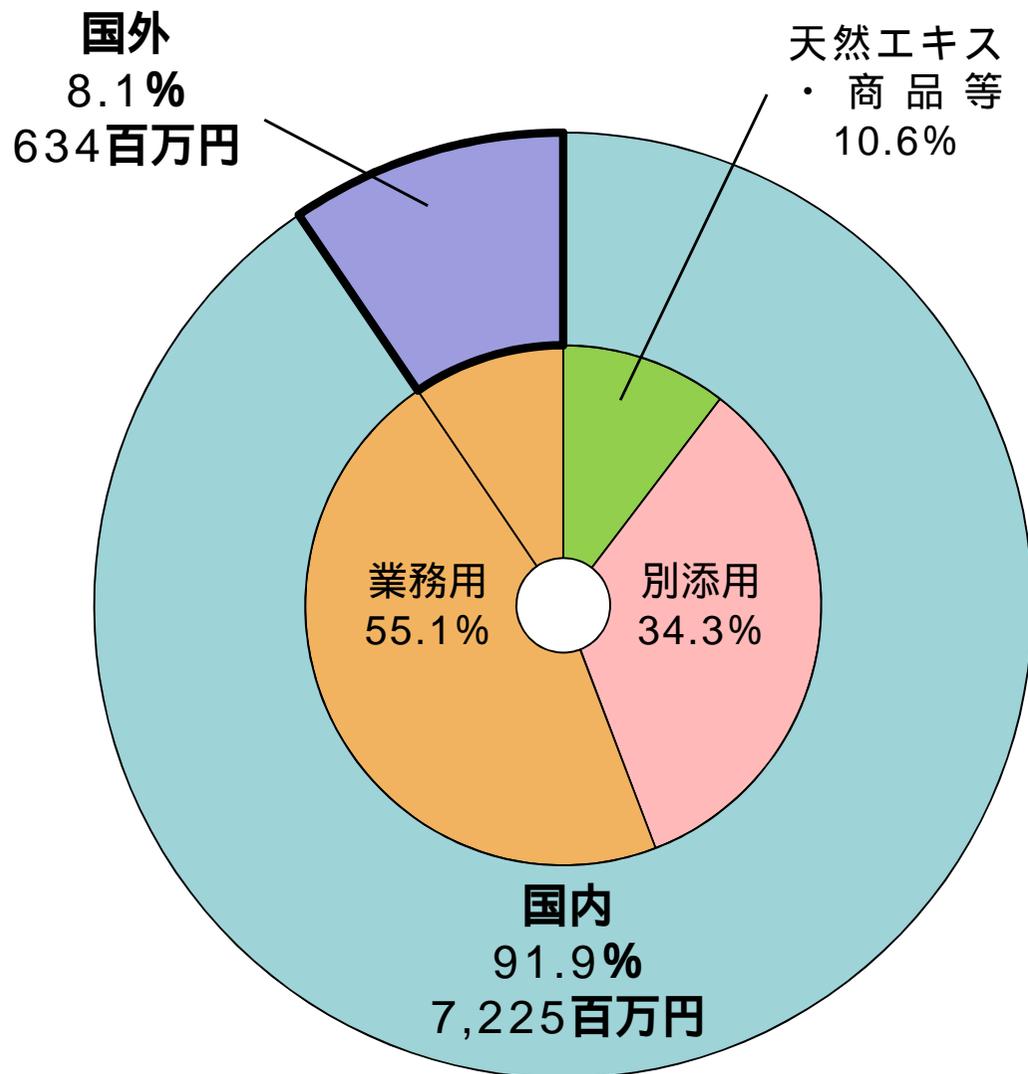
外食・中食向け業務用調味料市場の開拓が進み、売上高は好調を継続。
 WAKOU USA INC.の業績改善に伴い、売上総利益以下の利益率が改善、
 高収益構造の確立に向け前進。

予想進捗率は季節的影響を含んでおります。

■ プレゼンルームを活用した提案型営業の強化により好調を継続、前年比較 887万円増（12.7%増）



■ 連結売上高は別添用・業務用製品が牽引（前年同期比：別添用3.5%増、業務用16.0%増）



別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。
本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしています。

業務用



主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。
本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

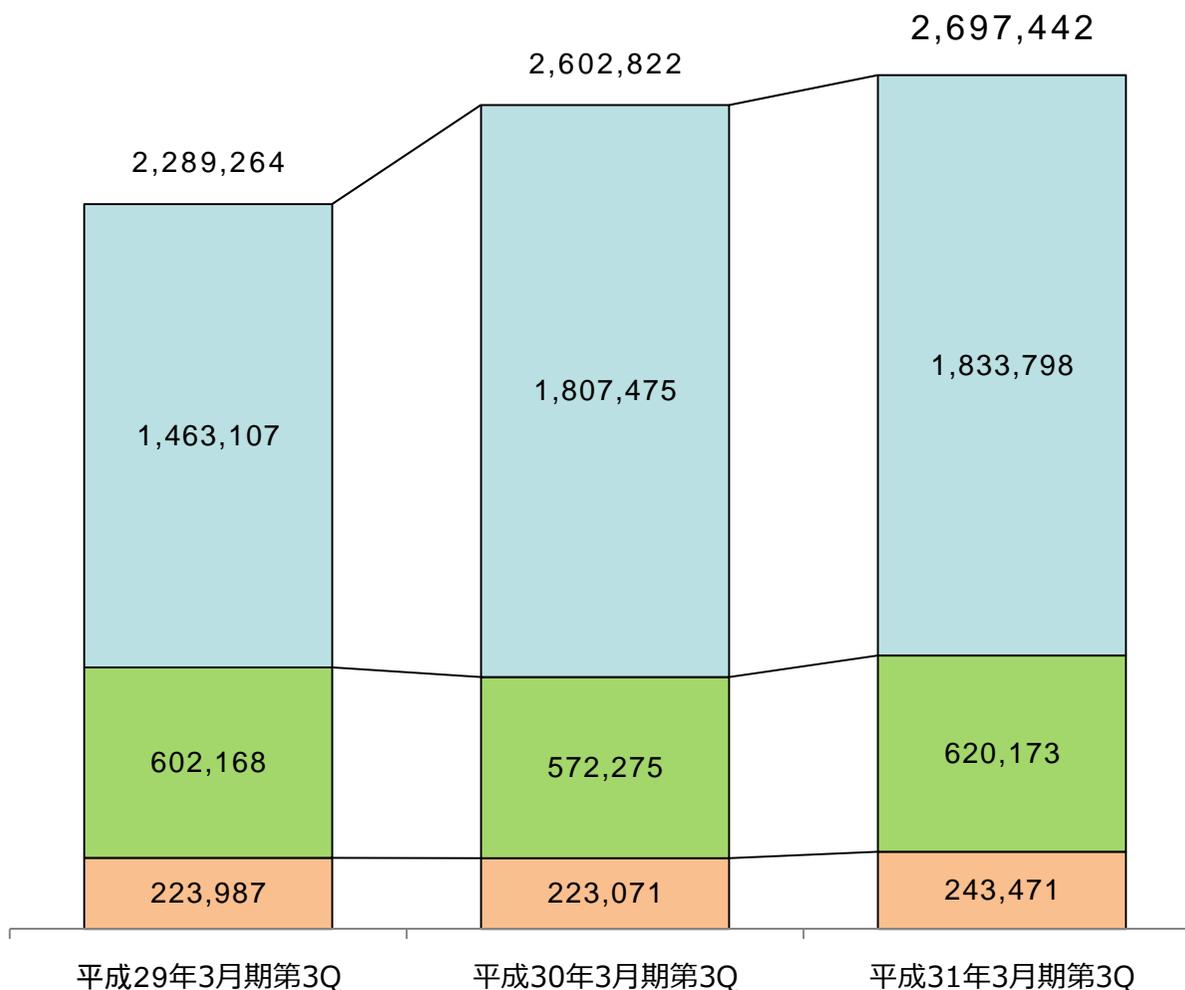
天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。
また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

別添用製品の売上高状況（連結）

（単位：千円）



別添用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
- ・魚介系ラーメンスープ（しじみ、あさり塩白湯）
- 【内食用 ↗】
- ・チルド冷麺スープ、量販店向け冷凍麺用スープ（担々麺、あんかけラーメン）

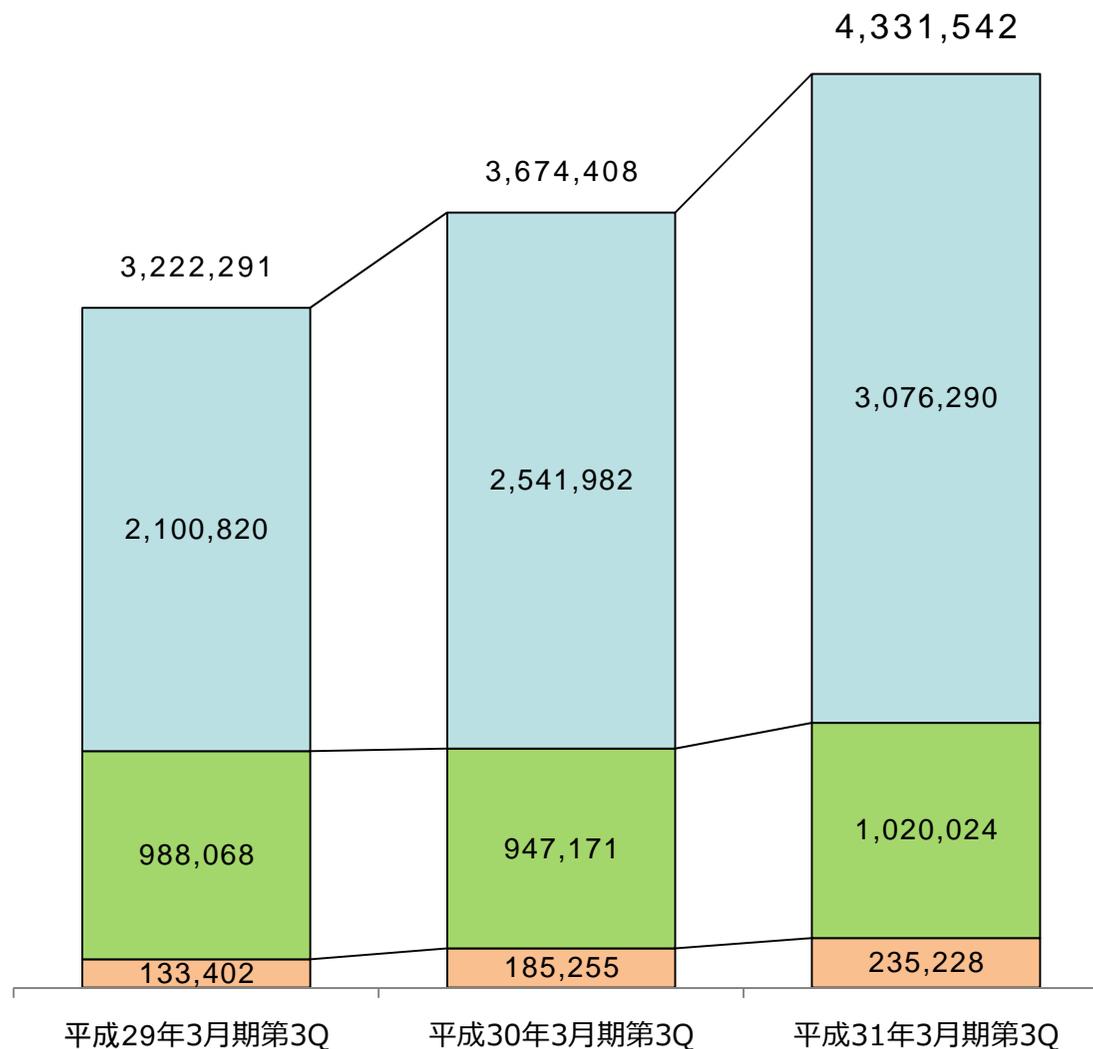
別添用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
- ・鍋の素（クリームソース）、トムヤムスープ、豆乳スープ、スンドゥブチゲ
- 【内食用 ↗】
- ・タッカルビの素、タコライスの素、かに飯のたれ、鍋の素（海老系）

別添用めんつゆ 主な増減要因

- 【中食用 ↗】
- ・ほうとうのつゆ、あご出汁のつゆ

（単位：千円）



業務用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・豚骨、味噌、坦々麺、魚介系（煮干、海老味噌）ラーメンスープ、黒マー油
- 【中食用 ↗】
 - ・味噌ラーメンスープ

業務用その他 主な増減要因

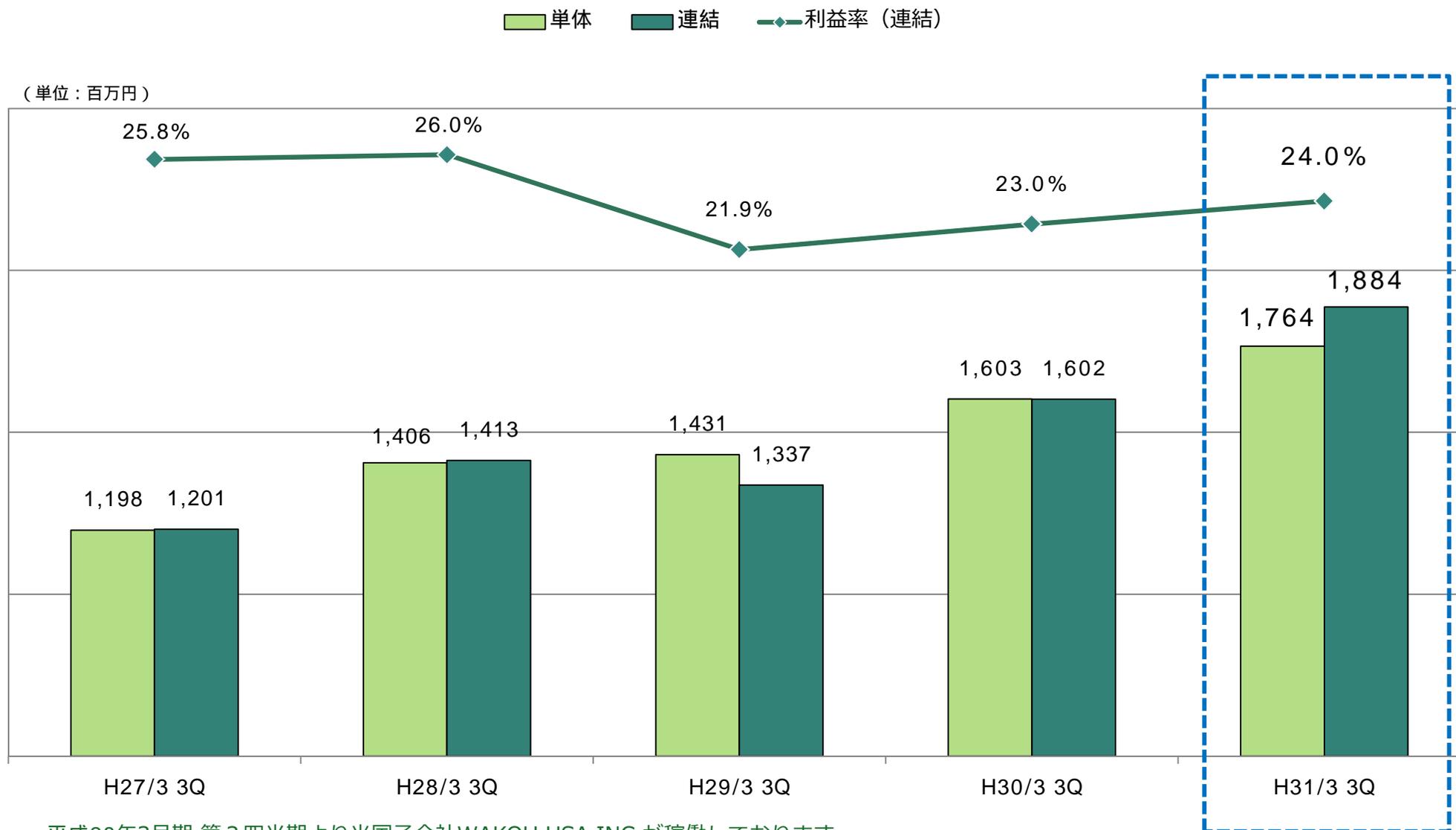
- 【外食用 ↗】
 - ・鍋、しゃぶしゃぶ用スープ（牛テール鍋だし、帆立・昆布系のだし）
 - ・パスタソース（ボンゴレソース）
- 【中食用 ↗】
 - ・お弁当用ラー油、冷担々麺用の辛子ラー油

業務用畜肉・水産 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・焼肉、すき焼のタレ、焼き鳥のタレ、牛すじ煮込みのたれ

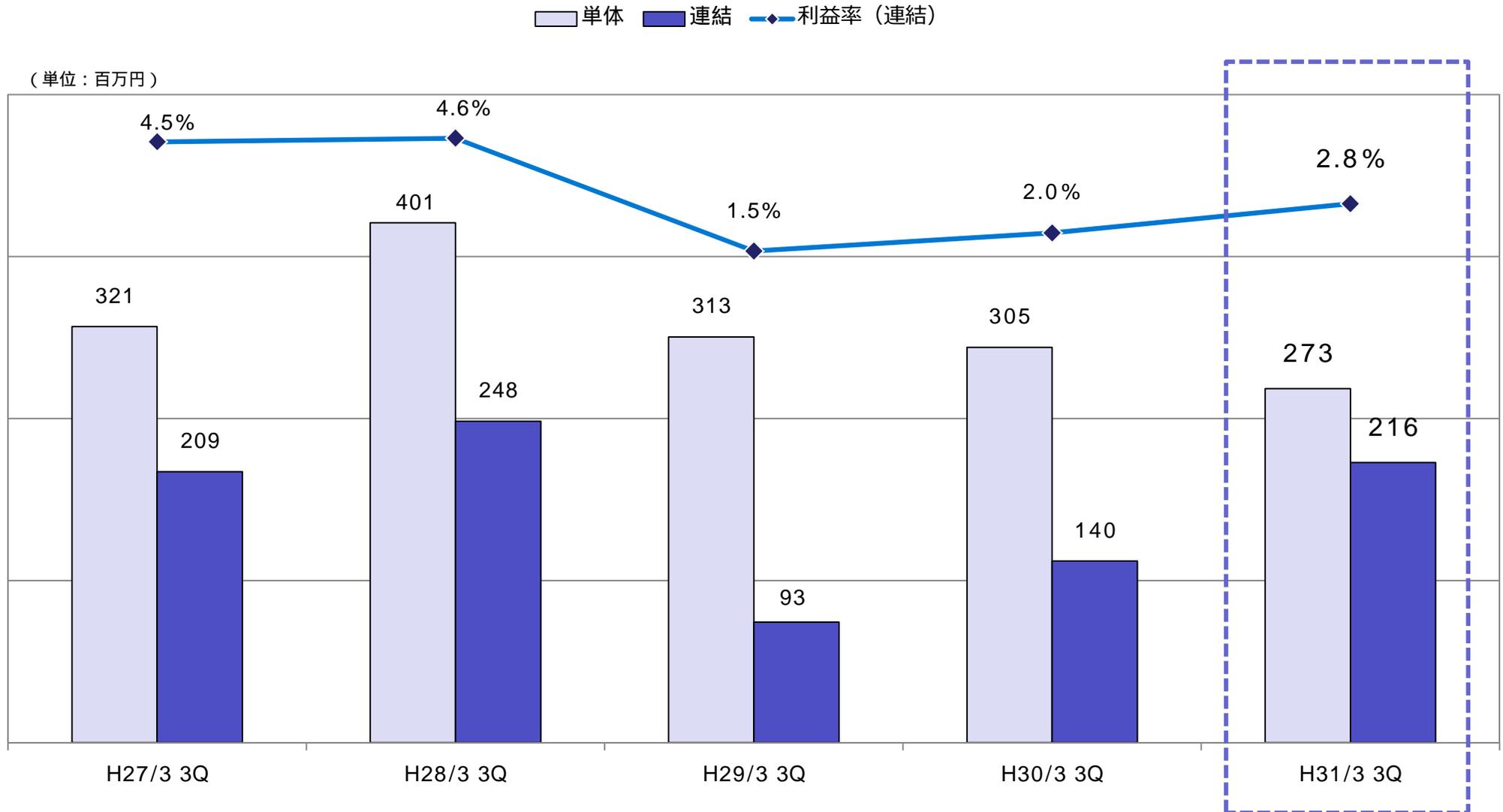
売上総利益推移（単体・連結）

原材料価格の上昇により利益を圧迫したが、WAKOU USA INC.の業績改善に伴い、連結売上総利益は改善へ向かう



平成28年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.が稼働しております。

WAKOU USA INC.の業績改善に伴い連結営業利益は改善へ向かう



平成28年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.が稼働しております。

営業利益増減分析（連結）

主な増益・減益項目 (単位：千円)	平成30年3月期第3Q		平成31年3月期第3Q		前年同期増減比較	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上総利益	1,602,135	23.0%	1,884,928	24.0%	282,792	17.7%
運送・保管費	414,500	5.9%	492,615	6.3%	78,114	18.8%
人件費	457,110	6.6%	530,430	6.7%	73,319	166.6%
その他販売管理費	589,721	8.5%	645,333	8.2%	55,612	9.4%
営業利益	140,803	2.0%	216,549	2.8%	75,746	53.8%

増益要因

売上総利益

： 外食・中食市場向け調味料の販売が好調。売上高887百万円増加
 ： WAKOU USA INC.の業績改善に伴い増益。

減益要因

運送・保管費

： 各運送会社の運賃の値上げに伴い増加

人件費

： 拡販活動に伴う増員により人件費が増加

その他販売管理費

： 主に法定福利費、減価償却費等が増加

対策

構造改革推進委員会を設置

- ・ 受注・生産体制の見直し
- ・ 運送・保管方法の見直し
- ・ 社内体制の見直し

キャッシュフローの状況（連結）

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ たな卸資産の増減額 +45百万円
- ・ 法人税等の支払額の減少 +56百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

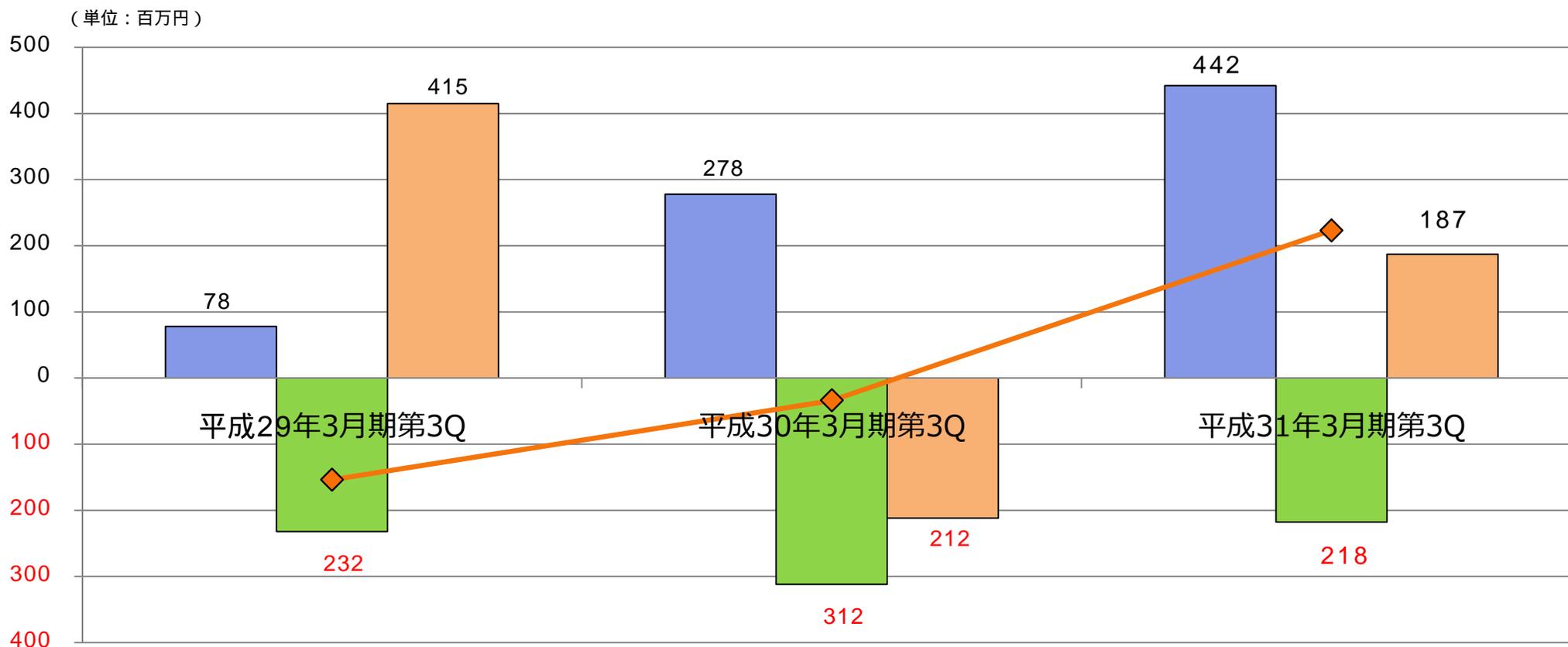
- ・ 有形固定資産の取得 +64百万円
- ・ 無形固定資産の取得 +41百万円

【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ リース債務の返済額減少 +45百万円
- ・ 借入による収入額の増加 +355百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ FCF



(単位：千円)	平成30年3月期第3Q	平成31年3月期第3Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
設備投資額 1	351,097	540,008	188,911	53.8%
減価償却費	313,891	316,657	2,766	0.9%
研究開発費	150,842	147,323	3,518	2.3%
フリーキャッシュフロー 2	34,048	223,385	257,434	-
有利子負債 ※3	1,584,582	2,199,415	614,833	38.8%
配当金支払額 ※4	40,940 (50円/1株) <small>(効力発生日：平成29年6月22日)</small>	40,935 (50円/1株) <small>(効力発生日：平成30年6月21日)</small>	-	-
ROE 5	1.0%	3.4%	-	2.4%

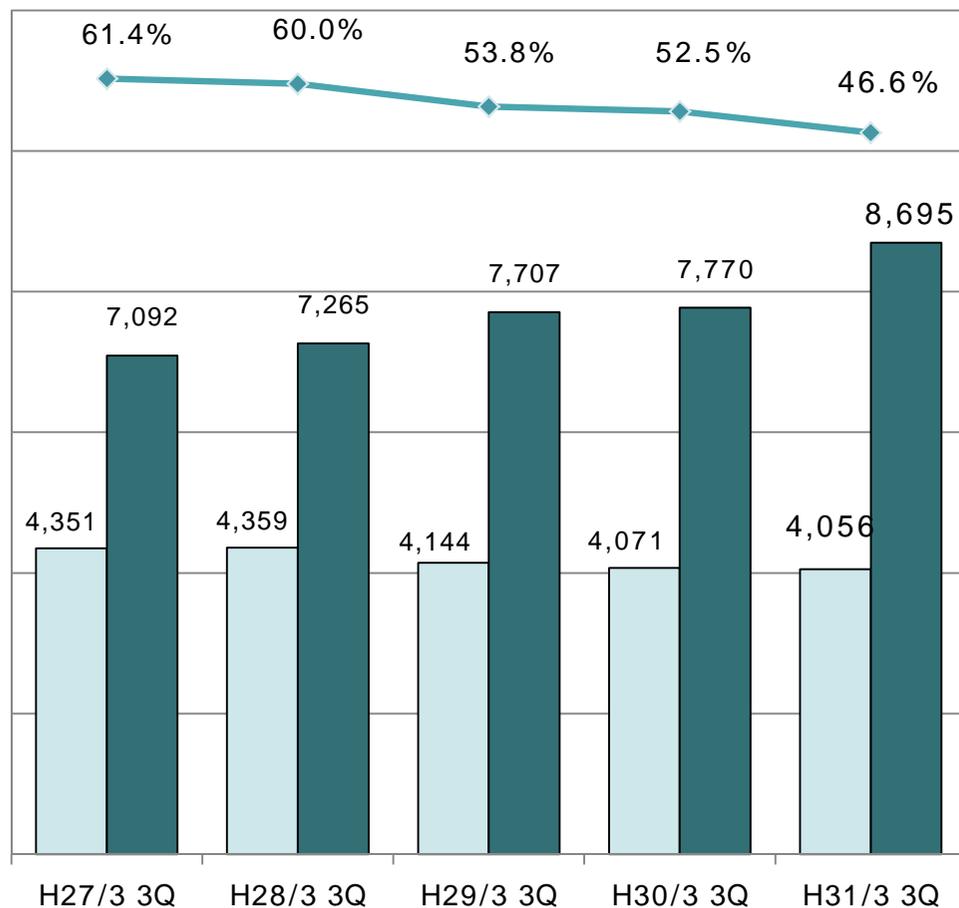
- 主な設備投資**：製造設備の導入 302,576千円（主に、ボイラ - 設備の入換え、製品冷蔵庫増設）
 ：ソフトウェア導入 68,562千円（主に、米国子会社でのERPソフトの導入）
- 連結営業利益の回復に伴い、営業CFも改善が進む。
- 来期の設備投資に向けた資金調達により有利子負債が増加。
- 配当金支払額については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。
- 業績回復に伴い前年同期比較2.4%増。
 なお、ROEについては株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

■ 先行投資に係る借入金が増加傾向にあるが、安定した財務基盤を継続しております

自己資本比率の推移

自己資本 総資産 自己資本比率

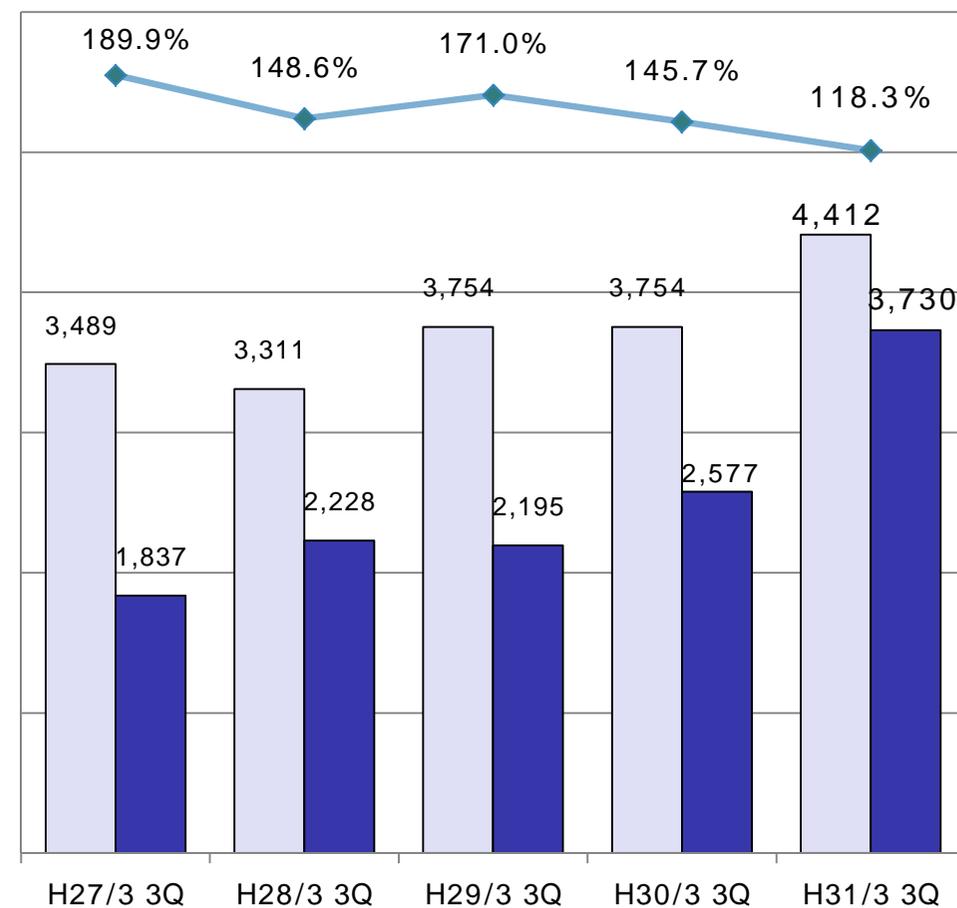
(単位：百万円)



流動比率の推移

流動資産 流動負債 流動比率

(単位：百万円)



- 1 . 平成31年3月期第3四半期連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第3四半期 トピックス（参考）

業績予想に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=110円で計算しております。

■ 通期業績確保に向けた主な取組み

プラン

外食・中食市場の更なる開拓

- ・ PB製品の販売強化
- ・ 各支店に併設されているプライベートキッチンを活用した提案型営業の強化

プラン

原価低減・生産性向上の強化

- ・ 受注・生産体制の見直し
- ・ 運送・保管方法の見直し
- ・ 社内体制の見直し

プラン

安心安全の強化

- ・ 原材料の適正化
- ・ 関東工場においてFSSC22000の認証取得を目指す
北海道工場では平成30年3月に認証取得済み

プラン

WAKOU USAの販路拡大

- ・ USDA認証製品を活用した差別化戦略
- ・ 非ラーメン市場の開拓、拡販
- ・ 主要都市圏（カリフォルニア州、ニューヨーク州）を中心とする営業範囲の拡大

平成31年3月期連結業績予想

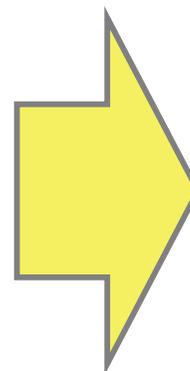
(単位：百万円)	平成31年3月期第3Q		平成31年3月期業績予想		
	実績	進捗率	上期	下期	通期
売上高	7,860	81.7%	4,883	4,740	9,623
売上原価	5,975	79.1%	3,772	3,782	7,555
売上総利益	1,884	91.1%	1,110	957	2,068
販売管理費	1,668	84.2%	1,095	886	1,981
営業利益	216	249.9%	15	71	86
経常利益	241	255.8%	37	56	94
親会社株主に帰属する 四半期当期純利益	137	568.3%	8	32	24

1株当たり配当については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

業績予想の数値は季節的影響を含んでおります。

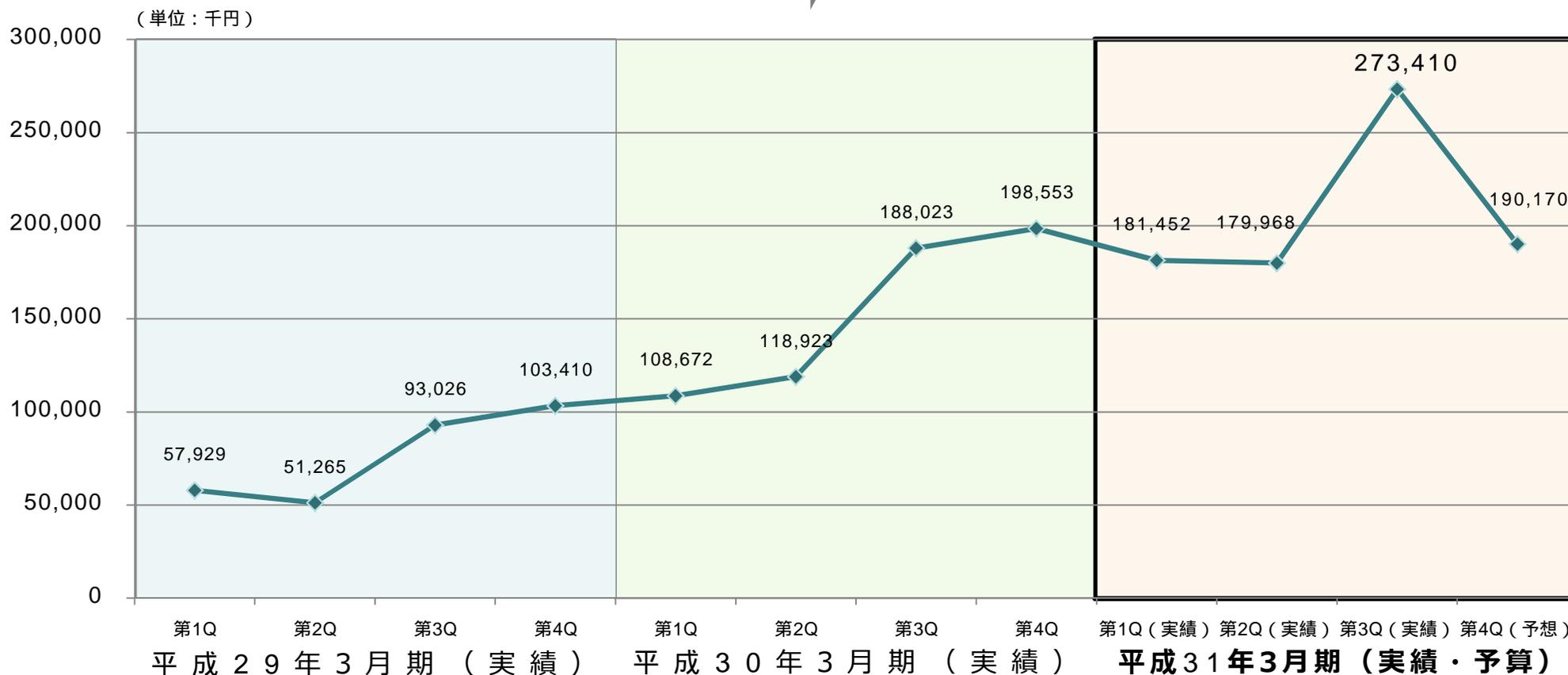
市場環境

- ・日本からのラーメン専門店の進出が増加、ラーメン人口が急激に増加している
- ・SUSHI等の日本食レストランで、ラーメンのサイドメニュー化が加速している
- ・食の安心・安全からUSDA認証製品が注目されている



内部環境

- ・アメリカ国内において知名度が高まっており、現地でのラーメン産業展では非常に人気を博している
- ・今後も大口の日本食レストランからの採用件数は増加する見通し
- ・USDA認証を取得した北米でも珍しいスープ類専門工場



業績予想の数値は季節的影響を含んでおります。

- 1 . 平成31年3月期第3四半期連結決算概要
- 2 . 平成31年3月期 業績予想
- 3 . 第3四半期 トピックス（参考）

昨年引き続き、2回目となるラーメン産業展に出展致しました。

日時：平成30年10月14日～15日

場所：テキサス州ダラス市

目的：北米圏におけるラーメン市場の開拓・拡大

出展者：48社



平成30年10月14日より2日間、テキサス州ダラス市にてラーメン産業展を開催致しました。
現地でも大変注目を集め、テキサス州のみならず州外からも非常に多くの方々に来場して頂き、北米全体で注目を集めるイベントとなりました。
特にWAKOU USA INC.のブースは非常に人気を博しており、特に「Hotate Chicken Ramen」が一番人気でした。
今後の北米圏におけるラーメン市場の更なる盛り上がりを確認させる事ができるイベントとなりました。

IRメールを配信し、投資家の皆様とのコミュニケーションを推進

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録の皆様にニュースメールを配信しご案内しております。メール配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけますので、是非ご利用ください。



<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=2813>

IR配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しております。

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。

本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的风险や不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：藁谷

TEL : 0 1 3 4 - 6 2 - 0 5 0 5

E-mail : IR@wakoushokuhin.co.jp